学校番号	123

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新現代社会　新訂版　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「現代社会」の授業では、現代の社会で起きている諸問題や現代の社会が抱えている課題について詳しく学習していくとともに、様々な見地から考察していきます。
そして、これからの社会を担っていく皆さんが社会に対して関心を持ち、「社会はどのようにあるべきなのか」ということを自分で判断する力を身につけてください。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての能力と態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の諸課題や歴史的背景に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題をさまざまな観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会の諸課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取る。収集した情報をもとに自らの考えをまとめる。	現代社会の諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノート・ワークシートの記述	学習状況の観察 定期考査 ノート・ワークシートの記述	学習状況の観察 定期考査 ノート・ワークシートの記述	学習状況の観察 定期考査 ノート・ワークシートの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代国家と民主政治	民主政治の成立 民主政治の基本原理 民主政治のしくみと課題 世界の主な政治制度	○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ 	a: 主題について理解し、国民主権・多数決・権力分立などの基本原理と政治制度の多様性をとらえている。 b: 主題について関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義の基本原理の特質を理解している。また、それらを文章などで適切に説明・表現している。 c: 近代の人権思想の歩みと近代の民主国家の政治原理および現実の政治機構との関わりを、関連書籍や様々なメディアを通じて収集し、選択・活用している。 d: 近代民主政治の歩みと歴史的宣言・文書を通じて、民主主義の原理の形成過程を理解している。	ワークシート 定期考査 観察
	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の制定 日本国憲法の基本的性格 自由・平等に生きる権利 新しい人権 人権保障の広がりと公共の福祉 平和主義とわが国の安全 こんにちの防衛問題	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a: 民主政治に対する関心を高め、基本的人権の保障、国民主権、平和主義などを意欲的に追究し、考えようとしている。 b: 現代の民主政治から課題を見いだし、民主社会において求められる価値や民主政治を基礎付ける考え方などについて考察し、民主政治の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から民主社会において求められる価値や民主政治を基礎づける考え方などについて学習に役立つ情報を主体的に選択して活用し、追究している。 d: 基本的人権の保障と法の支配、平和主義と我が国の安全など日本国憲法の基本原則について理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察

2学期	現代の経済社会	経済主体と経済活動の意義		○	○		a: 主題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し経済活動の在り方について考えようとしている。 b: 主題から様々な課題を見いだし、消費者、納税者としての個人の経済活動における社会的責任について多面的・多角的に考察し、公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 主題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、経済活動の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 主題について理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察
		経済社会の変容	○			○		
		市場のしくみ	○	○				
		金融の役割		○		○		
		日本銀行の役割		○		○		
		財政の役割と租税	○		○			
		日本の財政の課題	○	○	○			
	日本経済の特質と国民生活	日本経済の課題	○	○			a: 主題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動の在り方について考えようとしている。また、近い将来社会に出て労働者となる自覚のもとに、労働環境に関する諸問題を自らにかかわる問題としてとらえている。 b: 主題について多面的・多角的に考察し、現代の経済社会における個人、企業の経済活動の在り方について社会の変化や消費者、生産者など様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 c: 主題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から個人や企業の社会的責任などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全などについて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察
		消費者問題		○		○		
		労働問題と労働者の権利	○			○		
		こんにちの労働問題	○		○			
		社会保障の役割			○			
		社会保障制度の課題	○	○				

2学期	生命科学と情報技術の課題	人間の生死と生命科学 遺伝情報と利用の諸課題 高度情報化社会と情報倫理	○ ○	○ ○	 ○ ○	○	a:主題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b:主題について多面的・多角的に考察している。また、科学技術と生命の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、発表などを行い表現している。 c:主題に関する学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 科学技術の進歩が、人間の生命や死の在り方にまで影響が及んできたことを理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 グループ発表 観察
3学期	地球環境問題	破壊される地球 地球環境問題への取り組み	○	 ○	 ○	○	a:地球環境問題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b: 地球環境問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、環境保全をどのように図るかを多面的・多角的に考察している。また、国際的な取組や協力、自らの生活の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c:地球環境問題に関する学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 地球環境問題は、経済発展に伴う二酸化炭素などの排出、地球環境の汚染や破壊の問題であることを理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察

3学期	国際政治の動向	国際連合と国際協力 冷戦の成立とその崩壊 人種・民族問題	 ○	○ ○ 	 ○	○ ○ 	a: 主題に対する関心が高まり、国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。 b: 主題から課題を見いだし、国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 c: 主題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 経済の国際化、労働力・資本・技術・情報などの地球規模での移動や貿易の拡大と不均衡、南北問題などを理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。